

授業科目(ナンバリング)		観光史(CA117)		担当教員	※板垣 朝之 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	必修
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
現代成長産業の一角を担うまでに成長した観光業、同時にコロナ禍やウクライナ戦争によってその将来に危機感を持たれている観光業、いずれも観光業の側面であるが、現状を俯瞰すると、今後の日本の基幹産業としての観光業成長への期待が、極めて大きなものであることが改めて認識される。本講義では観光の概念を再確認すると同時に、19～20 世紀における基礎的発展期から今世紀に入って以降の観光の歴史的動きを学び、そこから産業としての今後の観光業への理解を深めることを目的とする。							②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	観光の歴史および現状の観光の動きを、歴史的な背景を基礎とした知識をもとに説明することができる					・ 期末課題 ・ 小レポート	20% 20%
情報収集、分析力	授業で得た知識から、観光業の現状を歴史的に分析することができる					・ 期末課題 ・ 小レポート	10% 20%
コミュニケーション力	観光の歴史や観光業を自分の考えをもって議論することができる					・ 授業参画度	5%
協働・課題解決力							
多様性理解力	観光の視点から、現代社会が抱えている問題を分析し、自身の観光に対する意見を観光史の中で位置づけることができる。					・ 期末課題 ・ 授業参画度	20% 5%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎週の授業後レスポンスに授業へのコメント等を記入し提出し、全 15 週の内 2 回分を小レポートとして全体の 40%評価とする。期末課題は観光史の授業内容を踏まえた自身の考えをまとめる目的で実施し 50%評価とする。観光の歴史やこれからの観光業に関し、常に興味、関心を持って授業に臨む事を参画度として 10%評価し、これらを総合的に評価する。課題レポートのフィードバックは適宜ポートフォリオや授業時に行う。							
授 業 の 概 要							
授業はビジュアル資料等を使用し、観光と観光業の諸元を国内/海外/インバウンドという形態別に体系建てて歴史的に概説する。特に産業としての発展・展開期においては当時の歴史的動向等も踏まえて理解を深める。また観光業は交通業、宿泊業等多くの産業を包括的に取り込んだ産業であり、交通業等の歴史に関しても理解を深める。 担当教員の旅行業での経験等に基づく知見等も利用して、時間軸に沿った観光業の動きに関して広範な知識の習得と理解を目指す。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は 180 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：特に定めない。 参考書：『観光概論』(株)JTB 総合研究所							
授業外における学修及び学生に期待すること							
歴史を学ぶことの重要な目的の一つは、その事実から学んだことを、現在の環境の中にどう教訓的に生かして行く事が出来るのかにあると考えられる。不確実性の時代である今日にあって、「過去は参考にならない」ではなく「過去にこそ現代を生き抜く重大なヒントが隠されている」という発想に共感を持てるように意識して授業に望んでほしい。 その為には歴史を学びつつ現代を正しく見つめる視点がより重要である。この授業を受講する際にはこの様な意識で望んでほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	オリエンテーション 観光とは何か	観光および観光業の歴史を学ぶ意義を考える	歴史を学ぶ意義とは何かを 考えておく
2	世界における観光の歴史	世界における観光史の流れを考察する	予：観光の始まりについて 考える 復：観光の始まりの復習
3	日本における観光の歴史①	日本における観光観光の始まりから近代までの流れ を考察する	予：日本の観光の始まりに ついて考える 復：日本の観光の始まりに ついて復習
4	日本における観光の歴史②	明治以降の日本の観光の流れを考察する	予：明治以降の日本の歴史 の流れを確認しておく 復：明治以降の観光の復習
5	日本における観光の歴史③	団体旅行と修学旅行の発展・展開を考察する	予：団体旅行とは何かを考 えておく 復：団体旅行の復習
6	日本の修学旅行の現状	就学旅行の現状はどのようなになっているのか、OB に よる修学旅行の現状に関する特別授業（予定）	予：自身の修学旅行経験を 再考してみる 復：修学旅行の現状の復習
7	移動手段としての交通機関 の変遷	移動手段として交通機関は歴史的にどのように発展 してきたのかを考察する	予：移動手段としての交通 機関について考えておく 復：交通手段の歴史復習
8	航空運送業界の歴史	戦後日本の民間航空業界の歴史を考察する	予：自身の航空機利用体験 を確認しておく 復：航空機の歴史復習
9	国鉄/J Rの発展と展開	国有鉄道としての役割と分割民営化の意義とその 歴史を考察する	予：国鉄とは何だったのか を考えておく 復：国鉄と JR の歴史復習
10	新幹線の役割と現状	全国の新幹線網展開の歴史と意義、西九州新幹線長崎 ルート開通の意義を考察する	予：自身の新幹線乗車体験 をを考えておく 復：新幹線の歴史復習
11	海外旅行の登場と展開	海外渡航自由化と海外旅行発展の歴史を考察する	予：海外旅行と国内旅行の 違いをを考えておく 復：海外旅行の歴史復習
12	パッケージツアーの登場と 海外旅行の大衆化	海外渡航者倍増時代と、海外旅行大衆化時代の海外旅 行の歴史と海外旅行の革命児パッケージツアーの仕 組みを考察する	予：パッケージツアー (PT) とは何かをを考えておく 復：PT 内容の復習
13	インバウンド観光の始まり とその歴史	日本におけるインバウンド観光の始まりと歴史的展 開を考察する	予：インバウンド観光とは 何かをを考えておく 復：インバウンド観光復習
14	コロナ禍以前のインバウン ド観光の再確認	インバウンド旅行者 3 千万人への歩みとコロナ禍に よる挫折を考察する	予：インバウンド観光の増 加理由をを考えておく 復：コロナ前状況の復習
15	国の基幹産業としての観光 業展開とその重要性	国の基幹産業としての観光業の重要性と観光業の歴 史を俯瞰した上で今後の展開を考察する	予：観光の歴史全体の流れ を再確認しておく 復：歴史を踏まえて今後の 観光の在り方を考える